

南部

老人福祉
ふれあいタウン

シルバーエリア



第17号

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
秋田県南部老人福祉総合エリア

外から見た...

エリア

...が頑張っていること
...に期待されていること



管理者
谷 藤 友 一

南部シルバーエリアは、平成八年度に高齢者から子どもまで世代を越えて延べ約十四万四千人の方々のご利用をいただいております。

私は四月から佐々木前管理者の後任として、平鹿福祉事務所から転任してきましたので、これまでエリアを外から見ると立場でしたが、横手平鹿の福祉関係者にとって、このエリアが広域圏内に設置されていることは、地域の高齢者福祉を向上させるための大きな資源として力強いものがありました。

このことは、平成八年度からスタートした秋田県新総合発展計画後期計画、横手・平鹿地域計画の主要な四施策の中に盛り込まれており、それはエリアが施設・設備や人材などを広く地域に提供し、横手平鹿地域の福祉向上の核施設の役割を担って行くことです。

この計画の中で、今後担うべき役割の一つとして「健康、生きがいづくりとボランティアの育成」が取り上げられてお

ります。

現在エリアには、地域の皆さんや入居者・利用者のために、四つの教室をもつ（生きがい創作館）・（子どもと老人のふれあいセンター）・（屋内・外運動広場）・（屋内温水プール）などの施設のほか、二十の講座をもつ《活き活き学園》やリハビリ体験教室、健康講座を開催し、昨年度は延べ二百三十回、約六千二百人の参加をいただき、生きがいづくりや健康づくり、社会参加、世代間交流を進めております。

これからは、老人クラブや高齢者グループ等と連携し、リーダー研修や新しいスポーツの普及、各種講座や集い等への協力等、地域に向いて役立つような活動が求められると思われれます。

またエリアでは、昨年度延べ約五千人のボランティアの皆さんに活動していただいております、この中にはエリアに居住しておられる方や個人登録の方、大森町の四十一のボランティア団体の皆さんがおります。

さらに、高校生のボランティア養成のため夏・冬休みには「福祉セミナー」を開催するとともに、大森町内の小・中学校と様々な機会に交流を行いながらボランティア意識の涵養を図っております。

これからは、ボランティア活動全般にかかわる相談や指導助言、ボランティアの育成事業や研修会への人材の派遣等を実施するとともに、小・中・高の学生やサラリーマン、企業等を対象に、常時ボラ

ンティア体験を交えた研修等へ施設を開放することが必要とされております。

今後期待されるもう一つの機能は「高齢者介護充実への支援」です。

介護保険法案が国会で審議されており、平成十二年からの実施が濃厚な社会福祉の動向の中で、各市町村においてはホームヘルパー等人材の確保や基盤施設の整備が進められており、それに伴いホームヘルパーの養成や在宅介護技術の普及向上への支援が求められております。

エリアでは、平成八年度に三級ホームヘルパー養成研修を実施し、六市町村二十五人の方に修了証書を交付することができました。

引き続き本年度は二級ホームヘルパー養成研修にランクアップし六月から実施することとなり、さらに要請があれば三級ホームヘルパー養成研修も実施する予定です。

これら研修の講師は、エリアの職員が担当しており、言い換えますと自前講師で定期的開催できるといふことです。

今後、職員はさらに専門知識や技術の研鑽に努め、市町村や団体が実施する介護技術の習得や向上のための研修等にお手伝いすることにしております。

このように南部シルバーエリアは総合的福祉施設として、利用される方々への福祉サービスの向上はもとより、もてる機能を外に向けて提供し、地域の期待に添うよう運営に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

ヘルパー養成研修

2級課程開催

南部シルバニアエリアでは、昨年の、ホームヘルパー養成研修3級課程講座に引き続き、さらに上級の2級課程講座を秋田県社会福祉事業団が県の指定を受けエリアを



昨年度の受講風景

会場に開講する事になった。

この講座は、エリアの持つ施設機能を活かし、エリアの職員が講師となって、ホームヘルパーなど福祉の仕事に従事することや、ボランティア活動を希望することや、必要な知識と技術を身につけてもらうために行う。

日程は、六月十一日～十月十五日までの三十一日間、延べ百三十時間という長期の研修である。

- 受講対象者は、
- ① 将来ホームヘルパーとして活動する事を希望する者
 - ② 地域においてボランティアとしての活動を希望する者
 - ③ 要介護者を抱え、介護の知識、技能を必要とし

研修期日・内容 (計 130時間)

月日	教科名	(時間数)
6月11日(水)	(1) サービス提供の基本視点	(3時間)
	(2) 老人福祉の制度とサービス	(3時間)
6月13日(金)	(3) 福祉理念とケアサービスの意義	(3時間)
	(4) 障害者(児)福祉の制度とサービス	(3時間)
6月18日(水)	(5) ホームヘルプサービス概論	(3時間)
	(6) ホームヘルパーの職業倫理	(2時間)
6月20日(金)	(7) 障害・疾病の理解	(4時間)
6月25日(水)	(8) 障害・疾病の理解	(4時間)
6月27日(金)	(9) 高齢者、障害者(児)の心理	(3時間)
	(10) 高齢者、障害者(児)等の家族の理解	(3時間)
7月2日(水)	(11) 介護概論	(3時間)
	(12) 医学の基礎知識	(3時間)
7月4日(金)	(13) 介護事例検討	(4時間)
7月9日(水)	(14) 住宅・福祉用具に関する知識	(4時間)
7月11日(金)	(15) 家事援助の方法	(4時間)
7月16日(水)	(16) 相談援助とケア計画の方法	(4時間)
7月18日(金)	(17) 在宅看護の基礎知識	(3時間)
	(18) リハビリテーション医療の基礎知識	(2時間)
7月23日(水)	(19) 共感的理解と基本的態度の形成	(4時間)
9月3日(水)	(20) 基本介護技術	(5時間)
9月5日(金)	(21) *	(5時間)
9月10日(水)	(22) *	(5時間)
9月12日(金)	(23) *	(5時間)
9月17日(水)	(24) *	(5時間)
9月19日(金)	(25) *	(5時間)
9月24日(水)	(26) ケア計画の作成と記録、報告の技術	(5時間)
9月26日(金)	(27) レクリエーション体験学習	(3時間)
10月1日(水)	(28) 介護実習	(8時間)
10月3日(金)	(29) *	(8時間)
10月7日(火)	(30) ホームヘルプサービス同行訪問	(8時間)
10月8日(水)	(31) *	(8時間)
10月13日(月)	(32) *	(8時間)
10月14日(火)	(33) *	(8時間)
10月15日(水)	(34) 在宅サービス提供現場見学	(6時間)

ている者

- ④ 期間中無理なく受講できる者
- ⑤ 必須としてすでにホームヘルパー養成研修3級課程を修了している者

全課程を修了した者には修了証書及び修了証明書が交付される。

昨年の、3級課程受講者の中に、「要介護者を抱えていて、家庭で大変役に立った。」との喜びの声も聞こえている。

エリアは、これらの講座を通し、福祉の情報提供や、施設機能を活かした地域での福祉の拠点としての役割を担っていききたい。



平成9年度

生き生き学園開講式

目指せ!! くされたまぐら



生き生き学園「語りを聞く会」

開講式終了後、早速「語りを聞く会」が開かれ、秋田県生涯学習センター前所長の鈴木元彦氏が「秋田のむら表現（ことば）」と題し、「くされたまぐら何サでも嵌まる」を副題に講演した。その土地、地方で

生まれた表現（ことば）を巧みに使ったのお話しには、全員が引き込まれ、笑いがあつたり、昔を懐かしんだり、時には学園生の体験談も出るなど和やかな雰囲気の話となった。

さあ皆さんも、くされたまぐらのごとく、何サでも嵌まってみてはいかがですか？

五月八日、南部シルバーエリア新館大広間にて「開講式」が開催され、内容を充実し平成九年度、生き生き学園の各教室・講座がスタートした。

生き生き学園は、地域の方々やエリアの利用者・入居者の方々の生きがいと健康づくりのために開講しているものであり今年度で六

年目を迎える。各教室ともレベルが向上しており、エリア以外の大会への参加も見られるようになってきている。

昨年度の主な成績は、太極拳が県ねりんピック大会で団体三位、卓球では県マスターズ卓球選手権大会で優勝一名、準優勝一名一組、三位一名二組、全国マスターズ卓球選手権大会で準優勝一名、県ねりんピック大会で三位一組と、好成績を収めている。



講師へ委嘱状交付

エリア大観桜会

四月二十三日、晴天の大森公園で行うはずの大観桜会でしたが、あいにくの雨に見舞われ、エリア屋内運動広場での室内開催となりました。

例年どおり、養護老人ホーム・シルバーケアセンター・軽費老人ホーム・老人専用マンションの四施設合同で、百四十七名が参加し行われました。

一端宴会が始まれば外が雨でもなんのその、養護老人ホームに入居している小林さんの乾杯に続いて、民謡の田口信夫さんと演歌の



大観桜会

田口弘幸さん親子の歌謡ショーに始まり、たくさんの入居者・利用者の方のカラオケや踊りの余興、おいしい料理とお酒にビール、みなさん天気のこと忘れ、楽しい一時を過ごしました。

おおいに盛り上がった観桜会でしたが、外で開催することができなかったのですが、来年こそは晴天のなかで行えることを願って、閉会となりました。



知っていますか? CAPP

— 白寿園 —

「CAPP活動」とは、社団法人日本動物病院福祉協会が行っている「コンパニオン・アニマル・パートナーシップ・プログラム」の略称で、高齢者や福祉施設の利用者などに、犬や猫などの動物とふれあう機会をつくるボランティア活動のことです。



高齢者や障害者を持った方への効果がテレビなどで紹介され、人と動物のふれあいにより

心理的・社会的・生理的な利点があると言われ、近年日本でもその活動が活発になってきています。

一月に初めてこの活動が白寿園で行われ、始めは硬い表情だった入居者も、次第に楽しい表情へ変わっていききました。



今年度から、毎月第三水曜日に定期的に来ていただけることになり、入居者の楽しみがまた一つ増えました。

■施設利用料

区 分		利用の単位	利用料
宿 泊	小学生	1人1泊につき (素泊り)	2,200円
	一 般		3,000円
休 憩	小学生	1人につき	300円
	一 般		600円
休憩回数券 (6枚券)	小学生		1,500円
	一 般		3,000円
会 議 室		1時間につき	1,300円
研 修 室		1時間につき	1,300円
視 聴 覚 室		1時間につき	1,300円
屋内ゲートボールコート		1時間につき	430円
テニスコート		1時間につき	430円
屋内プール	3歳児から 中学生まで	1回につき (1回目) (10:00~13:00)	220円
	高校生		430円
	一 般		530円
屋内プール 回数券 (6枚券)	3歳児から 中学生まで		1,100円
	高校生		2,150円
	一 般		2,650円

※プール利用時間(2回目)は11月から4月までは13:30~16:30です。

●4月から料金が改正されました。



親子でも

子供だけでも



おじいちゃん
おばあちゃんと

楽しさいっぱい
エリアへどうぞ!

出会い・ふれあい・語らいの街

■利用のご案内

コミュニティセンター・スポーツ施設

開館時間 9:00~17:00

休館日

毎週月曜日と12月29日~1月3日まで
(診療リハビリセンターと在宅介護センターは
日曜日、および祝日と12月29日~1月3日まで)

お問い合わせ・お申し込み

秋田県南部老人福祉総合エリア

秋田県平鹿郡大森町字菅生田245-34

TEL **0182-26-3880**(代)

FAX **0182-26-3882**

■交通のご案内

車...大曲、横手、湯沢駅から
約30分です。 バス...羽後交通の
バスがエリア前
から発着します。

